



田代中校区 小中一貫教育だより

鳥栖市立田代中学校 鳥栖市立田代小学校
鳥栖市立若葉小学校 鳥栖市立弥生が丘小学校

No. 3 令和 2年 2月28日(金) 発行

田代中校区 小中一貫教育研究推進協議会より



田代中校区の校長、副校長

令和2年2月18日(火)に、今年度の小中一貫教育の在り方について、田代中校区の4小中学校の校長、副校長、教頭等が一同に介して、研究推進協議会を開催しました。

「学力向上部会」「生活基盤づくり部会」等がありますが、4小中学校間においてどのように協力、連携していくことができるのか、児童や生徒、保護者の方にどのように情報提供したり啓発したりしていくのか、今年度を振り返るとともに、来年度に向けて、様々な観点から構想を練り、意見を集約しました。今年度の取組の成果を子供達の教育に向けてしっかりと還元していきたいと思っております。

【学力向上】

「環境は人をつくる」と言われるように、子供達が、小中9年間を通して着実に学力を伸ばしていけるように、教室環境の整備(UD化)や学習の約束、問題解決的な学習指導を取り入れていきました。そして、授業実践を、学校間で相互参観をして、授業改善に役立てていきました。この小さな一歩を大切に、今後も子供達の学力向上につながる努力を田代中校区全体で頑張っていきます。

弥生が丘小学校
校長 杉本 光史

【教科「日本語」】

8月9日(金)に行った部会において、小学校と中学校での取り組みの様子を情報交換することができました。小学校で学習した四字熟語や俳句などの学習を、中学校でも国語の授業や「日本語」の授業の中にて生かすことができ、継続性のある学習活動とすることができています。今後、小中連携を意識した系統性のある指導につなげていきたいと考えています。

田代中学校
校長 伊東 栄次

【生活基盤づくり】

田代校区小中一貫教育推進協議会の部会において、小学校・中学校の生活の様子や決まりについて情報交換することができました。その中から、9カ年間を見通しての共通の取り組みを模索しました。小中の交流事業については、機会を増やしてこうという確認ができましたが、実践に結びつけることに至らず、来年度以降の課題となりました。

田代中学校
副校長 原口 克

【心の教育、教育相談】

子供達が、思いやりの気持ちや自己肯定感を高めるとともに、コミュニケーション能力や規範意識などの社会性を育てることを目標に、マナー教室や道徳教育、人権教育の充実に取り組んできました。また、スクールカウンセラーを招いて教育相談連絡会を開催し、各学校の悩みについての的確な助言を頂いたり、学校間の情報交換をしたりして、心の教育にも取り組んでいます。

田代小学校
校長 宮原 純

【特別支援教育】

児童、生徒の交流を図り、集団行動への意識を深めるために「田代中校区なかよし交流会」を実施しています。今年度は、特に、5年生、6年生の児童を対象として、学校紹介や自己紹介をしたり、ドッジビーを行ったりしてとても楽しい時間を過ごしました。同時に、保護者の皆様と中学校に向けての話も行うことができ、とても有意義な交流会になったと思っています。

若葉小学校
校長 山本 春文

小中一貫教育を通しての児童、生徒の成長を見つめて

【学力向上】の面から

ちょっとでこぼこな形の体積を求めることはできたけど、その形にどうやって分けたのか、どうしてその計算をしたのか、友達に説明するのは難しかったです。もっと勉強したいと思いました。

弥生が丘小学校 5年生の児童より



【教科「日本語」】を学んで

授業で礼儀作法や和食などについて学びました。日本の伝統的な振る舞いや日本食の良さを体験することによって、日本文化のすばらしさを感じることができました。

田代中学校 2年生の生徒より



【生活基盤づくり】について

新入生説明会の学校紹介ビデオ作成で、改めて田代中学校の良さを知ることができました。生徒会で協力して作成しました。小学校には行けませんが皆さんに喜んでもらえたでしょうか。

田代中学校 2年生の生徒より



15の春に素敵な花を咲かせよう

【特別支援教育】から

11月に田代中学校で「なかよし交流会」がありました。ドッジビーをして楽しかったです。来年から中学生です。文化祭やいろいろな行事があるそうです。少し不安だけど楽しみにしています。

若葉小学校 6年生の児童より



【心の教育、教育相談】から

正しい姿勢や言葉、正しい物事を教わる授業って素晴らしいと思います。家で、「敷居を踏んだらだめだよ」と礼儀作法について話している姿を見て感心します。いろんなことを学んでいるんですね。

田代小学校 1年生の保護者より



令和元年度 田代中校区 小中一貫教育を振り返って

いよいよ卒業の時期が田代中学校区の小学校6年生や中学校3年生の子供達に迫ってきました。日々の学校生活の中で、子供達が、自分達の義務教育9年間の歩みを意識することはあまりないのかもしれませんが、しかし、今こそ、挨拶をしっかりとすること、改まった場での礼儀作法を学ぶこと、学習でめあてやまとめを意識すること、誰もが様々な悩みや苦勞を抱えながらも頑張っていることなど、学んだことをしっかりと心に刻んでほしいものです。子供達自身が、友達の助けや諸先生方の働きかけを受けながら「生きる力」をつけていくことこそが、小中一貫教育の確かな学びであり、「15の春に素敵な花を咲かせよう」の合い言葉にもつながると信じてやみません。